

かんきょうすいろ 環境水路の生きもの調査

環境水路の 生きもの調査 時間割



①環境水路の説明

②農業用水の学習会

③生きもの調査 (9:30~10:30)

~移動・休憩~

④生きもの学習会 (11:00~11:40)

⑤生きもの放流



場所：環境水路の横

(④生きもの学習会は、小学校の谷かよし広場)

環境水路の説明

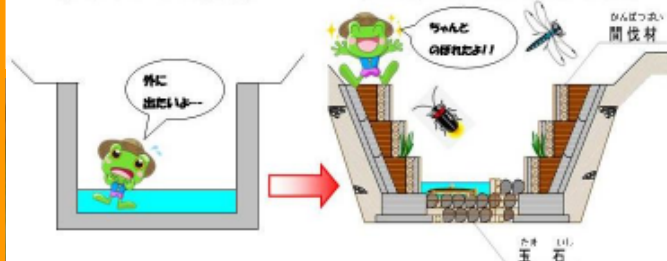
岐阜県の工事で、生きものたちが住みやすい「環境水路」をつくりました。



かんきょうすいろ 環境水路って、どんな水路?

工事前の水路
(コンクリートの水路)

工事後の水路
(生きものが住みやすい水路)



平成15年度に岐阜県の工事で環境水路を造りました

「環境水路」とは、水路の壁に間伐材を使い、底には玉石という大きな石を敷いた「生きものたちが住みやすく、環境にもやさしい水路」です。

農業用水の学習会

環境水路の水は、飛騨川の水を白川取水口で取り入れ、地面の中に埋められた管をとおり美濃加茂まで送られてきます。



生きもの調査

あいにくの雨天でしたが、水路内で生きものを捕まえました。

魚、水生昆虫、カエル・・・いろいろな生きものが捕まりました。



生きもの学習会

みのかも文化の森の安藤志郎先生の指導のもと、捕まえた生きものを同定、観察を行いました。また、山之上にいる生きものについての説明を受けました。



山之上小学校 4年生からの 感想

川をよごさず、きれいに川にしたいです。魚、カニなどをつかまえることができるとてもうれしかったです。

ごみをすてると、生き物のすみかがなくなって、田んぼのお米とかがつくれなくなるからかも川をたいせつにしたいなあと思いました。

農業用水のことや、かんきょう水ろのことなど、勉強になりました。